

書斎

創建当初は天井の高い洋室でしたが、近衛文麿が首相を退いた後に和室へ改修されました。

GHQより戦犯容疑で出頭命令を受けた近衛は、出頭期限である昭和20(1945)年12月16日早朝、この部屋で自決しました。

近衛家の人々はこの部屋を「とのさまのへや」と呼んで大切にし、現在まで大きく改変されることなく、当時の姿を今にとどめています。

書斎中央に置かれたケヤキ製の座卓(杉並区指定有形文化財)は、近衛の貴族院議長就任時(昭和8年(1933)6月)に政治家・河原田稼吉から贈られたものです。



書斎(創建時:写真の人物は入澤達吉)



書斎(復原後)



近衛自決を伝える新聞記事

昭和20年12月17日／東京新聞